



コープ九州 事業連合ガイド

Kyushu Consumer's CO・OP Union Guide





コープ九州事業連合は、組合員が安心して利用できる商品を生供給し続けます。

無店舗事業(班配達・個別配達)

組合員がカタログやインターネットで注文した商品を、週に1回、決まった曜日・時間帯にお届けする仕組みです。隣近所や職場などのグループ(班)単位で利用できる「班配達」と、個人で利用できる「個別配達」があります。コープ九州では、会員生協の組合員が利用するカタログの商品企画、カタログ制作などを協同して行うことにより、会員生協トータルのメリット拡大、コスト低減をめざしています。

食品(毎週およそ1,000品目掲載)

会員6生協の商品企画・カタログ制作を行っています。



ベビー・キッズ用品(マンスリー版、およそ200品目)、健康づくり応援商品(隔週およそ250品目掲載)、ギフト(およそ500品目掲載)

会員7生協の組合員のニーズに合わせた、ベビー・キッズ用品カタログ「すくすくスマイル」、健康づくり応援商品カタログ「いきいきくらす」に加え、会員6生協のギフト(お中元・お歳暮)の商品企画・カタログ制作を行っています。



日用雑貨・衣料品など(毎週およそ1,500品目掲載)

全会員生協の商品企画、仕入れ、カタログ(ぱれっと)制作を行っています。



インターネットサービス「eフレンズ九州」



「eフレンズ九州」はインターネットで共同購入のお買い物ができるサービスです。お得な「わけあり」数量限定企画や、クチコミ投稿、お気に入り商品やアレルギー表示の登録など、WEBならではの機能を備えています。登録組合員数は35万人を超えました(2022年3月末時点)。

◀スマホアプリ「COOPぱけっと」



COOP WEB

商品やサービス、商品活動など生協固有の価値を広く発信するメディアです。COOP WEBを通して、生協ブランドイメージの再構築を図り、参加と協同が見え、感じられる事業を行うことを目的にコンテンツ制作および推進活動を行っています。



<https://coop-web-project.jp/>

店舗事業

会員生協の総店舗数は90店舗(2021年3月末現在)。スーパーマーケット方式で生鮮食品、コープ商品、会員生協オリジナル商品、コープ九州オリジナル商品などのほか、くらしにおける必需品を取り扱っています。

現在7生協(エフコープ、コープさが生協、ララコープ、生協くまもと、コープおおいた、生協コープかごしま、コープおきなわ)での企画や売場づくり、仕入れなど可能な範囲で連帯して進め、さまざまなコストメリットを創出しています。



九州各県で風水害が発生していることを念頭に、会員生協の各店舗で九州応援企画を開催しました。

物流・システム支援事業

組合員のくらしやニーズが多様化する中、「組合員のくらしにフィットした品ぞろえ」と「品質強化」をめざして、会員生協・日本生協連グループと協同して物流・システムの構築と効率的な運用を行っています。

ドライ・冷凍・冷蔵・中温度帯による商品の品温管理を行っており、収穫の翌日にお届けする新鮮な野菜・くだものをはじめ、多くの商品を最適な温度帯と物流で会員生協・組合員へお届けしています。



おいで
デリバリー



しんせん便

生活情報誌『クリム』発行

Co-op Life Information Magazine

九州・沖縄の生活情報誌『クリム』。コープ商品を使った料理レシピをはじめ、くらしに役立つ情報や読み物などがたっぷり詰まった1冊です。

●月刊84ページ、オールカラー
本体267円(税込293円)
<https://www.clim.jp/>



災害支援について

2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨、2018年度から毎年のように続く豪雨などの災害に対して、被災地生協や九州、全国の生協と協力しながら復旧・復興に向けて支援活動を継続しています。



商品の調達・共同仕入れ・共同開発事業

商品の調達や共同仕入れ、日本生協連との商品共同開発や原料(大豆)の共同仕入れなどを行っています。

商品開発については、九州・沖縄の組合員が在宅モニター「うちモニ」として活動しており、組合員の声を生かした商品づくりにも力を入れています。

ラブコープ※商品工場・産地交流会や組合員商品活動交流会では、生産者・メーカー、組合員との直接交流を通して、相互理解を深めています。

※ラブコープ…全国の生協と日本生協連が連携して進めるコープ商品のファンを増やす取り組み。



『co-op 長崎風ちゃんぽん』の(株)キンレイ大阪工場を訪問しました。

エリア共同開発商品の一例

『co-op ビザまん』
『co-op うまくちしょうゆ 減塩』
『co-op コープ牛乳(キャップ式)』



リサイクル事業

2017年に稼働した鳥栖エコセンターでは、会員生協にて回収したリサイクル資源物類[カタログ・チラシ・OCR注文書・飲料パック・集品袋(PE)・卵パック(PET)]を一括加工しています。鳥栖エコセンターから大分製紙(株)豊前工場に納品している紙資源物は、古紙100%の「co-op コアノン(トイレトーパー)」に再生されています。



コープ九州鳥栖エコセンター

※参加生協/エフコープ・コープさが生協・生協くまもと・コープおおいた

SDGs(持続可能な開発目標)のとりくみ

2015年に国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールを定め、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを掲げています。コープ九州はSDGsの目標達成に向けたとりくみを進めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



生活協同組合連合会

コープ九州事業連合

〒811-2496 福岡県糟屋郡篠栗町中央1丁目8番1号
TEL 092-947-9500 FAX 092-947-9501

<https://www.kyushu.coop/>

〈コープ九州事業連合とは〉

1993年11月、九州・沖縄8県生協の出資により発足。会員生協の商品事業と物流・システムを共同化することで、組合員がより安心して利用できる商品の提供や高い品質管理機能の構築、物流機能の効率化を実現しています。また、協同の力で組合員のくらしの不安をひとつずつ安心に変える事業を会員生協と共に進めています。

◎生協は、組合員の出資金を資金として、事業（商品事業、福祉事業）や活動を運営する組織です。コープ九州と全国300を超える生協・連合会などが加入する日本生協連（日本生活協同組合連合会の略）は、コープ商品の開発・供給（販売）をはじめ、会員生協の事業・運営のサポートなどを通して、会員生協の発展を支える役割も担っています。



コープ九州事業連合 参加生協

エフコープ生活協同組合

〒811-2495 福岡県糟屋郡篠栗町中央1丁目8番1号
TEL 092-947-9000 FAX 092-947-9191
<https://www.fcoop.or.jp/>

コープさが生活協同組合

〒849-0934 佐賀市開成3丁目3番28号
TEL 0952-31-9111 FAX 0952-31-4291
<https://www.saga.coop/>

生活協同組合ララコープ

〒851-2121 長崎県西彼杵郡長与町岡郷1474番地
TEL 095-887-0300 FAX 095-887-0656
<https://www.lala.coop/>

生活協同組合くまもと

〒861-2234 熊本県上益城郡益城町大字古閑107-1
TEL 096-284-6008 FAX 096-284-6530
<https://www.kumamoto.coop/>

生活協同組合コープおおいた

〒870-0278 大分市青崎1丁目9番35号
TEL 097-524-0111 FAX 097-524-0128
<https://www.oita.coop/>

生活協同組合コープみやざき

〒880-8530 宮崎市瀬頭2丁目10番26号
TEL 0985-32-1234 FAX 0985-32-3355
<https://www.miyazaki.coop/>

生活協同組合コープかごしま

〒890-0037 鹿児島市広木1丁目1番1号
TEL 099-286-1111 FAX 099-286-0500
<https://www.kagoshima.coop/>

生活協同組合コープおきなわ

〒901-2588 沖縄県浦添市西原1丁目2番1号
TEL 098-879-7711 FAX 098-879-7718
<https://www.okinawa.coop/>



シンボルマーク(りんごマーク)に
込められた意味

コープ九州設立時の母体である8生協の「8」、
コープ九州の無限の可能性を示す「∞」、そして、
西欧諸国では知恵の象徴であるりんご、これら3
つのモチーフによってデザインしました。

数字では伝わらないコープ

COOP WEB LABO

www.coop-weblabo.jp

